

高校生デパート「若蔵WAKAKURA」

商店会イベント部会



6月11日、12日の両日、高瀬蔵多目的ホールにおいて、高校生デパート「若蔵 WAKAKURA」が開催されました。北稜、専大玉名、玉名女子の3校が合同で、地場産品やオリジナル商品を販売しました。それぞれの高校の代表者で実行委員会をつくり、お店の名前、チラシ制作、商品構成、運営方法等を決めてきました。北稜高校は同校で栽培した園芸品や農産物の他、地元産品を組み合わせた生活提案の商品を、専大玉名高は付属高校のネットワークを活かして北海道と沖縄から取り寄せた海産物等を、そして玉名女子高は高瀬鮎を表面のコーティングに使った白梅かりんとうを中心に100円バザーなどの商品を販売しました。また、地元商店街からのセレクト商品も好評でした。2日間の来店者約4,900人、売上は約170万円でした。なお、収益金の一部は、日頃まちの安全に尽力頂いている駅前パトロールセンターに寄附されました。

高瀬蚤の市

5月21日から23日まで、骨董品などを集めた高瀬蚤の市が開かれました。来場者の持ち込んだ「お宝」の鑑定や、高瀬商店街の空スペースを使ったフリーマーケットなども行われ、大勢の人で賑わいました。思わぬ掘出し物がみつかる高瀬蚤の市は、今秋にも開催されますので、是非、お越し下さい。



展示棚をご使用になりませんか？

高瀬蔵エントランスホールの展示棚を、NPO法人高瀬蔵の会員の方にお貸し致します。趣味や活動の発表の場とされてみてはいかがでしょうか？

- 展示期間 概ね2週間程度(応相談)
- 使用料 無料
- その他
 - ・しっくい壁に直接貼り付け、釘打ちなどはできません。
 - ・営利目的、お店の広告宣伝等に偏ったものはご遠慮下さい(NPO法人高瀬蔵で事前に検討させていただきます)。
 - ・破損、盗難等には責任を負いかねますので、ご了承の上、お申込下さい。

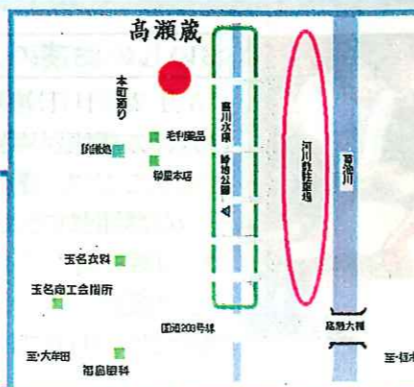
【お知らせ】

NPO法人高瀬蔵が応募していました「循環型社会と高齢社会におけるまちなか住宅供給システムの調査」が、平成17年度内閣官房都市再生本部の「都市再生モデル調査」事業の対象として選定されました。



NPO法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)
TEL・FAX 0968-72-2480
E-MAIL takasegura@cup.ocn.ne.jp
URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>
開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



NPO法人高瀬蔵(平成17年7月1日発行)

会報 Vol.2

花火 夏休み 大俵まつり

～こけら落とし 佐々木典子コンサート～



世界的オペラ歌手の歌声によいしれたひと時

4月29日、高瀬蔵のこけら落としとなる「佐々木典子コンサート」が開催されました。佐々木さんは高瀬のご出身で、ウィーン国立歌劇場で約10年間ソリストを務め、現在は二期会会員、東京藝術大学の助教も務められるソプラノ歌手です。「野ばら」や「春の声」など15曲余りを披露されました。昼夜2回ともホール内は満員となり、世界的オペラ歌手の歌声によいしれたひと時を過ごしました。(音楽部会)

公演中の佐々木典子さん

辛島文雄ザ・トリオ+TOKU コンサート

6月18日、オープニングコンサート第2弾として、「辛島文雄ザトリオ&TOKU」ジャズコンサートを開催。玉名はもとより熊本市内・県外からも沢山のファンが詰め掛けて満員の写真盛況でした。本場のジャズを堪能できました。演奏の方々も蔵の響きが心地よく観客と一体になり、音楽を楽しめましたと言われました。



午後のティータイム

5月1日、休日の午後のひとときを、美しいピアノを聴きながら、おいしいコーヒー・紅茶とケーキを頂きました。



アコースティックデュオ いな吉ライブ

5月14日、息の合ったステキなハーモニーでした。

活性化の拠点に！

NPO法人高瀬蔵 理事長 片山 敬子

高瀬蔵が4月20日にオープンして2ヶ月経ちました。ちょうど、高瀬裏川しょうぶまつりと時期が一緒になって思いがけず来館者の多かったのにびっくりしています。オープニングイベントとして、高瀬出身のオペラ歌手「佐々木典子コンサート」を開催し、大盛況でした。その後、「午後のティータイム」「郷土料理」「アコースティックコンサート」「日本の歌コンサート」「ピアホール」「蚤の市」「荒尾玉名窯展」「荒玉地区物産展」「高校生デパート」「辛島文雄ザ・トリオ+TOKUジャズコンサート」など。いずれも大成功でした。県内ばかりでなく、県外からも沢山来て頂きました。これも、高瀬蔵に関わって下さる皆様方の絶大なる協力があったからこそ大変うれしく思っております。

これからも、高瀬蔵の会員を増やし、定期的に自主事業を行いつつ、貸しホール事業も積極的に進めて行きたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。



日本の歌コンサート(5月15日)「片山敬子と仲間」と会場の皆さんと楽しく童謡・唱歌を歌いました。

いろいろなイベントが行われました！

まちづくり推進部会 (神永和典)

往時を偲ばせた高瀬展！

去る5月2日(月)より5月20日(金)まで高瀬展が3部構成にて行われました。

特に、第三弾の～商人のくらし其の二～では、猿渡家に残っていた帳場台や鉄製のはかりなど博物館から里帰りした商いの道具を中心に展示され、往時の商人のくらしが紹介されました。



当時の帳場風景を再現

大盛況でにぎわった窯元展

5月30日(月)より6月5日(日)まで荒尾・玉名地域窯元展が開催され、大変多くのお客様でにぎわいました。

特に、福岡や大分など県外からのお客様が多く、荒尾・玉名地域にこれほど窯元があって、変化に富んだ焼き物があるなんて、知らなかったとの声や、常設でこういうお店があったらいいなどの意見も聞きました。お客様の評価は上々で、来年も来たいとの声も多く、出店の窯元さんも、是非(来年も)続けていきたいとの意気込みを示されていました。



蔵の雰囲気とマッチした窯元展

荒玉地域のよかもん・うまかもんが大集合！

6月7日(火)より9日(木)までの3日間荒尾・玉名の観光と物産展が開催されました。

荒尾・玉名地域は、農林水産物が豊富で、加工食品や様々なお土産品など100を超える品目が、販売されていました。

特に、荒尾などの出店者は、玉名はもちろん、県外の方々にPRする大変良い機会になったと話されていました。



試食させて競い合う出店者

竹細工展示会開催

5月5日(木)、6日(金)の両日、当会員大林さんによる竹細工の展示会が行われました。大蔵に所狭しと並んだ約200品の竹細工に、訪れたお客さんからは、どの様にして作るのか、製作期間は何日かなどの質問も出て、盛況ぶりを見せました。



はぜの実でろうそくを

5月7日(土)、玉名町校区まちづくり委員会による和ろうそく作りが行われました。菊池川河畔には、昔よりはぜ並木があり、秋になると紅葉で、私たちの目を楽しませてくれます。そのはぜの実の皮が和ろうそくの原料となります。和ろうそくは、香りが良く、やわらかいあかりをともします。



フーの技を体験

6月19日(日)菊水堂の山崎さんによる、お菓子づくり教室が実施された。今回のメニューは水羊かん、日頃何気なく食べている水羊かんですが、レシピによる説明と山崎さんの実演で、お菓子作りの難しさと楽しさを参加者は実感されました。参加者からは、『勉強になりました。次回も是非参加したいと思います。』等の声が出て有意義なひと時となりました。



文化部会

(松浦勝政)

高瀬夜噺

「夜噺」は立ち上げて三年、市民の中にすっかり定着した感があります。今年から、舞台を菖蒲庵から高瀬蔵多目的ホールに移しました。太い柱、むきだしの梁、古い商家のたたずまいを随所に残したホールは、夜噺にピッタリ。1回目()月27日は宮川伸也(美蕉)氏の「高瀬の肥後狂句」で幕開け。狂句のもつ洒脱性、風刺性、さらに高瀬の狂句が「俳諧」の流れを汲んでいることを、天保時代にさかのぼる高瀬連の秀句を引き合いに話されたので、高瀬狂句の独自性がよく理解できました。また、狂句は「俳諧」から邪道視されたことから、「郷句」という字をあてた時期があったが、狂句もりっぱな庶民の文芸であり卑下すべきでないとして「狂句」が復活したことが説明されました。この日は、本番に先立ち、18時30分からNHKひのくにyouの九州沖縄向けの生中継が入ったことで、高瀬蔵・「高瀬夜噺」・玉名の句会には願ってもないPRになりました。



おいしいお茶の入れ方

5月22日(日)柳屋茶舗・猿渡さんと日本茶インストラクター協会の協力により、おいしいお茶の入れ方講座が実施されました。講座参加者は14名、猿渡さんも講座を主体とするのは初めてと言うことで、資料作成・会場設営に奮闘されていました。講座は終始笑いが絶えないアットホームな雰囲気で大成功に終わりました、参加者の方々も『楽しかった、来て良かった』とのことで、お茶に対しての興味が増したのではないかと思います。当日は、しょうぶまつり期間中に加え、骨董市・フリーマーケット等のイベントもあり多数の来客があり、日本茶講座を皆さん興味津々見ておられましたので、かなりの宣伝になったのではないのでしょうか？



郷土の味を堪能

5月14日(土)、当会員大林さんら高瀬のご夫人方による春の郷土料理の食事会がおこなわれた。器の調達や材料の買出し等、数日前から準備して頂き、当日も朝早くから調理の仕込みをされ、本番を向かえた。食事会には、地元の方を中心に22名の参加があり、大林さんも思わずにっこり。「ちらし寿司」、「竹の子のひこずり」などをメインに6品がテーブルに並び、参加者は、「おいしい」と会話を弾ませながら箸を進ませている。

